

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表 令和6年2月29日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス事業所あくしゅ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		基準を満たしています。	今後も同様に努めます。
	2 職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>		基準（定員10名につき職員2名）以上の配置をしています。	今後も同様に努めます。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		子どもの状況や特性に応じて、配置を工夫しています	お子様のニーズに合わせて、その都度検討していきます。
業務 改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		振り返りと改善策を定期的にスタッフで話し合い、業務改善を図っていきます。	今後も同様に努めます。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>		日々のやりとりや事業評価などのご意見を参考に、ニーズの共有や見直しを図っていきます。	ニーズの共有をする機会をつくり、職員間で役割分担して、業務改善につなげるようにしていきます。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>		ホームページで公開しています。	今後も同様に努めます。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>	理事会へ業務の定期的な報告や相談をしています。第三者委員会は実施していません。	第三者委員会の設置等について、今後、検討していきます。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		内部研修や外部研修の機会を年間を通して行っています。	研修や専門家のコンサルテーションの機会を計画的に実施していきます。
適切 な 支 援 の 提 供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		アセスメントの実施、日々の記録の見直し、子どもと保護者のニーズの共有をしながら、計画を作成するよう努めています。	今後も同様に努めます。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		<input type="radio"/>	標準化されたツールの活用はないが、評価キットの活用や課題分析等を行っています。	職員研修を実施し今後活用を検討していきたい。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>		活動プログラムの立案をチームで行っている。定期的にスタッフミーティングの機会を作っている。	今後も同様に努めます。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		子どもの特性や発達、利用時間に合わせて、内容が固定化しないよう努めています。	系統的なプログラムが提供できるよう努めます。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	<input type="radio"/>		平日、休日、長期休業中など子どもの利用時間に合わせた活動や課題を設定するよう努めている。	今後も同様に努めます。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		子どもの発達や特性、日々の状態にあわせて、個別と集団それぞれの活動を取り入れている。	スタッフが内容を共有する機会や個々のニーズに応じた準備ができるように継続して、業務の整理を行っています。
15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>		毎回、打ち合わせの時間を設定して確認を行いました。	今後も同様に努めます。	

適切な支援の提供	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援終了後、短時間だが、振り返りの時間を設けました。十分に時間を確保することが難しい場合は、システムを活用して情報を共有しました。	今後も同様に努めます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々の支援の記録、報告、振り返りがしやすいように、様式を適宜更新しました。支援の内容については、必要に応じて、ケース会議を開いています。	今後も同様に努めます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的にモニタリングを実施し、計画の見直しを行っています。	定期的な時間の確保に努めます。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っている	○		基本活動を複数組み合わせ、支援を行っています。基本的な生活習慣、地域活動を個々のニーズに合わせて取り入れています。	今後も同様に努めます。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者や支援に関わる職員が参加しています。	サービス担当者会議への参加について、管理者を含めて、適切な人員が参加できるように努めます。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		全員が所属する学校との情報共有は難しかったが、必要に応じて情報共有を行いました。	十分でない点もあるので、相談支援事業所等と連携をしながら、今後も充実させるように努めます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	非	非	該当者なし	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		支援計画などの引継ぎ、就学前の利用していた機関との情報共有を行っています。	十分でない点もあるので、今後より情報共有の機会などへ参加するように検討していきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		必要に応じて情報提供を行っています。相談支援事業所などと連携しながら行っています。	移行支援会議等へ事業所が参加できるように努めます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		専門家のコンサルテーションの機会を設け、助言や研修を受けています。	今後も同様に努めます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		地域の資源などを活用することはあったが、交流については限定的になっていっているように感じます。	社会情勢（感染状況）、個々のニーズに合わせて検討していきます。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	○		市の自立支援協議会が主催する研修会へ参加しました。	一部の職員だけでなく、参加できるように検討していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		可能な範囲で送迎時や面談時に保護者と話しをして、共通理解を図っています。	今後も必要に応じてすすめていきます。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		オンラインでの学習会や研修会の案内をしています。送迎時に療育の様子をフィードバックを行っています。	家族への相談、子育ての助言などに応じる専門性を今後も高めていくように努めます。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		新規契約時や変更時に説明を行っている。利用者負担については、請求書の初回発行時に説明しています。	利用継続児童については、説明の機会が少ないので、会報や掲示などにより理解しやすくするように努めます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		保護者からの相談に応じ、内容によっては、スタッフで話し合いながら、助言と支援を実施している。状況によって、関係者との連携を検討しています。	家族への相談、子育ての助言などに応じる専門性を今後も高めていくように努めます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		主に家族向けの研修会や茶話会の情報発信を行いました。	法人主催の学習会や茶話会の開催については今後、検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		契約時の周知、苦情受付ポスターを掲示している。苦情を受けたスタッフは、責任者（管理者）への報告を行い、理事会とも連携して対応について協議しています。	管理者、現場の職員、理事会など連携しながら対応を行う。解決できない事項もあるが、法人内で対応が難しい場合は、外部機関、専門家からの助言なども積極的に取り入れるようにしていきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		年間4回程度、あくしゅ通信を作成、配布して活動内容等の報告を行なっています。	今後も同様に努めます。
	35	個人情報に十分注意している	○		職員研修を実施し、十分配慮しているが、今後も十分気をつけていきます。	今後も同様に努めます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		子どもや保護者の状況に合わせて、伝え方に配慮しています。	今後も同様に努めます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		地域住民を招待する行事の開催はしていませんが、地域の行事には可能な範囲で参加しています。	お子さんや保護者のニーズや特性に合わせて検討していきます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		各種マニュアルを策定、常時室内掲示して、スタッフに周知している。保護者へは契約時の説明を行い、保護者閲覧用ファイルでいつでも確認できるようにしています。	保護者への周知が十分でないところもあるので方法について検討していきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		マニュアルを基に、各災害について避難訓練、職員研修・訓練を計画的に実施しています。	今後も同様に努めます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		スタッフへの研修と、定期的なセルフチェックを実施しています。支援方法について管理者へ相談、報告をしています。	今後も同様に努めます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等サービス計画に記載している	○		身体拘束については、年間計画に沿ってスタッフへの研修を実施しています。保護者への説明も実施し、計画にも記載している。	身体拘束についての、認識をスタッフ間で確認し、情報共有や話し合いをし、防止に努めます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		現在は、該当がないが、保護者と情報共有を行い、必要に応じておやつを持参していただいています。	必要に応じた対応を行っていきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		事例集の作成、保存を行い情報共有をしています。	今後も同様に努めます。